

基本事業コード	10010001	担当課所名	吉田市民福祉課
基本事業名	吉田総合支所市民福祉事務		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	-	-
			総合振興計画 - ページ

基本事業の概要
主に吉田総合支所管内在住の市民及び近隣の市民に対し、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、健康福祉部等で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。さらに、住民と身近に接することの中から信頼関係を築き、住民との協働によるまちづくりや、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進する。また、本庁各部署と連携して事務の効率化を図る。

対象 (主に) 吉田相互支所管内在住の市民 / 吉田総合支所職員
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する / 効率的に事務を進められるようにする

基本事業指標	指標の算式	単位	25年度	評価年度(26年度)		28年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを行うべきと判断し事務数に占める実務数	実務数/所管すべき事務数	%	100	100	100	100	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			26年度	単位	事務事業評価 28年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		25年度決算額	26年度決算額	27年度予算額	実績値(下段)			
01	本庁総務関係共同事務	指標	-	-	-		A	
			0				維持	維持
02	本庁市民福祉関係共同事務	指標	-	-	-		A	
			0				維持	維持
03	会館維持管理事業	指標	吉田振興会館・やまなみ会館利用者	16,000	19,000	人	A	
			5,932,730	5,636,964	6,266,000		維持	維持
04	集会所・生活改善センター等管理事業	指標	貸付地区数	14	14	施設	A	
			1,026,245	1,990,241	691,000		維持	維持
05	集落活性化対策事業	指標	集落支援員活動回数	50	52	回数	A	
			108,107	132,595	314,000		維持	維持
06	★ 吉田・大田地区乗合タクシー運行事業	指標	年間延べ利用者数	1,200	1,396	人	A	◎
			5,814,975	5,817,960	6,898,000		維持	維持
07	吉田総合支所庁舎管理事業	指標	庁舎管理不備による事故件数	0	0	件	B	
			18,240,185	18,547,833	17,055,000		維持	拡充
08	地域生活環境整備事業	指標	実施事業数	5	7	件数	A	
			2,758,350	2,897,640	3,000,000		維持	維持
09	タイ王国ヤソトン市姉妹都市交流事業	指標	交流団派遣者数及び来秩者数	73	134	人	A	○
			0	0	0		維持	維持
10	★ 什器等保管倉庫解体工事【平成26年度のみ】	指標	土地の返却	1	1	件数	D	
			0	15,472,080	0		完了	完了
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 36,391,000 58,082,000

事業費の合計(円) (A) 33,880,592 50,495,313 34,224,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	33,880,592	50,495,313	34,224,000

正規職員	業務量	11.56人	11.41人
	人件費(B)	68,067,592	67,122,873
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	1.59人	0.50人
	人件費	2,560,422	504,894

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 101,948,184 117,618,186

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	吉田市民福祉課は、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、健康福祉部等と連携し業務を行っており、その他にも地域に密着した各種行政サービスを提供している。主に吉田地域の住民が本庁まで訪れなくても要件が済むよう各事業を充実させ、利便性を高める。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標の目標値を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 主に吉田総合支所管内在住の市民に対し、本庁の市民部、健康福祉部等で行っている事務の提供や、住民との協働によるまちづくり、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進することは、地方自治体として必要なことで妥当である。支所管内の市民に対する行政サービスの窓口として、総合支所を安全な状態に維持し、行政サービスの効率化を進められるようにする。具体的には、庁舎設備、警備や清掃、点検などの各種委託業務OA機器のリースなど効率よく事務が進められることも重要である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 地域が広範なため、高齢化が進んでいる地区も多く、市民に密着した行政サービスは今後も必要とされる。行政事務については市で行う必要があり、市民と身近に接することの中から、信頼を築き、住民との協働によるまちづくりを推進していく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 吉田地域は山間部に位置し、高齢化率が高い。また、吉田・大田地区には、路線バス、電車が一部空白の地区があるため、住民の生活手段として吉田・大田地区乗合タクシーの運行は必要不可欠な事業である。 タイ王国ヤソトンとの姉妹都市交流事業に関しては、平成26年度は交流20周年の節目の年となり、記念事業を盛大に実施した。今後も市民レベルの交流を続けていくとともに国際交流を活発にしていこう。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	総合支所では、本庁の各部局業務を個人がそれぞれ主担当として受け持っており、まちづくり活動を行う各種団体との連絡調整も行っている。 担当者の(突発的な)休暇等により行政サービスの窓口に影響が出ないよう、職員それぞれが各業務をカバーできるよう、広く職務知識を身に着ける。 市報や回覧等による広報や町会や関係団体への説明会の実施により各種事業の周知を徹底し、利用者の増加を目指す。吉田総合支所及びびやまなみ会館の電気料が増加していることから節電対策を徹底し、維持経費の縮減を目指す。 各種事業については、各団体等の会議や総会の際に周知し、利用者の増加を図った。総合支所においては、昼休み時間の消灯など節電対策を行い、併せて職員の意識向上を目指したが、デマンド値の関係もあり電気料金の縮減はできなかった。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	下吉田の倉庫用地を借り受けているが、子に相続されたことにより、市との契約更新を否定している土地がある。契約の継続を交渉し、今後倉庫を解体して土地を返還する。 上吉田に什器保管庫が3棟あるが、屋根及び壁にアスベストが使用されており、近隣の住民から改善を求められている。敷地についても借地であることから、什器保管庫を整理、解体して土地を返還し、土地借上料の削減を図る。 什器保管庫3棟は26年度中に解体し、土地を原状に復帰させた。平成27年3月末をもって契約を解除した。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	本庁舎の完成により、議会事務局の移転等が予定されるが、本庁舎に事務が集約する結果、不要となる部分について効率的な処分を考える。 吉田ヤソトン会等との協働による市民レベルの国際交流を促進し、ヤソトン市との姉妹都市交流事業を、市民による経済交流まで発展させる。吉田総合支所及びびやまなみ会館の空調設備等が老朽化してきており、必要な改修等実施しつつ適切な維持管理に、ヤソトン市との姉妹都市交流事業は、平成26年度に交流20周年を迎え記念事業を実施した。びやまなみ会館2階の正副議長室の空調機を平成27年度に修繕予定である。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 既存の施設については、適切な維持管理の実施により、施設の長期使用を実現することで相対的に費用の縮減が図られるものと考えられる。さらに地域に誇りを持ち、共同によるまちづくりが一步前進する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	坂本 雄司	電話番号 0494-72-6082
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	10020000	担当課所名	吉田総合支所地域振興課
基本事業名	吉田総合支所地域振興事務		
総合振興計画 位置づけ 画け	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	1	効率的な行政の展開
			総合振興計画 174 ページ

基本事業の概要 主に吉田総合支所管内の市民に対して、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事がすむよう利便性を高める。自主事業として首都圏自然歩道の管理、吉田石間交流学習館や指定管理施設等の管理運営を行い地域の振興を図る。

対象 吉田総合支所管内在住の市民／吉田地域
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着したサービスを提供する／地域の振興を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	25年度	評価年度(26年度)		28年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
吉田地域を訪れる観光入込客	本年度来客数	人	520,000	530,000	527,000	560,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 28年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			26年度			
		25年度決算額	26年度決算額	27年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	本庁環境部との共同事業	指標	—	—	—	—	A	
			0	0	0	—	維持	維持
02	本庁産業観光部との共同事業	指標	—	—	—	—	A	
			0	0	0	—	維持	維持
03	本庁地域整備部との共同事業	指標	—	—	—	—	A	
			0	0	0	—	維持	維持
04	農業関連施設維持管理事業(吉田地区農村公園管理費)	指標 施設数	—	—	—	3	A	
			2,338,104	2,338,104	2,339,000	3	維持	維持
05	自然公園施設等維持管理事業	指標 管理業務(遊歩道の巡視、清掃、草刈)実施回数	—	—	—	14	A	
			30,366	30,366	33,000	14	維持	維持
06	山逢の里誘客施設管理事業	指標 利用客数	—	—	—	8,000	A	
			2,622,921	3,206,121	3,153,000	6,467	維持	維持
07	高齢者生産活動センター維持管理事業	指標 売上高	—	—	—	50,000	A	
			4,432,729	1,287,729	2,788,000	44,657	維持	維持
08	龍勢会館誘客施設管理事業	指標 利用客数	—	—	—	10,000	A	
			10,779,533	11,660,087	3,360,000	10,014	維持	維持
09	みどりの村関連誘客施設管理事業	指標 利用客数	—	—	—	—	B	
			1,832,270	576,145	1,323,000	—	縮小	維持
10	吉田石間交流学習館施設維持管理事業	指標 入館者数	—	—	—	400	A	
			2,686,119	2,392,188	2,880,000	861	維持	維持
11	城峯山ふれあいの森誘客施設管理事業	指標 利用客数	—	—	—	70	A	
			1,999,800	2,297,040	2,000,000	108	維持	維持
12	元気村誘客施設管理事業	指標 利用客数	—	—	—	30,000	A	
			3,687,559	2,088,200	6,792,000	20492	維持	維持
13	平成26年度事業単独(地域経済循環創造事業交付金・雪害による解体・修繕)	指標 施設整備・解体修繕	—	—	—	2	D	
			—	52,685,960	—	2	完了	完了
14	【25年度終了事業】	指標	—	—	—	—		
			33,920,468	—	—	—		

(参考) 最終予算額(円) 67,323,000 80,472,000

事業費の合計(円) (A) 64,329,869 78,561,940 24,668,000

財源内訳	国庫支出金	50,000,000	50,000,000	
	県支出金	3,609,900	32,400	32,000
	地方債	106,050	158,700	90,000
	その他特定一般財源	60,613,919	28,370,840	24,546,000

正規職員	業務量	9.00人	8.00人
	人件費(B)	52,993,800	47,062,488
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 117,323,669 125,624,428

【重点化欄】
 ◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
 ○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C,B	B,C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	農業関連施設、観光関連施設の入込客数を増大することにより地域の活性化が図れる。行ってみたい住んでみたい街づくりを造ることで多くの観光客が訪れることになる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標の目標値を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 本庁環境部、産業観光部、地域整備部と連携して吉田地域の振興を図っている。幹線道路の整備、遊休農地対策など農林業振興、龍勢を始めとする観光の推進など地域住民の生活環境の向上とともに、自然に親しむ集客イベントを行っている。また、道の駅龍勢会館を拠点とする情報の発信等、各施設の管理運営を指定管理することにより効率的な運営を行っている。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 行政事務に関しては秩父市で行う。施設管理については、指定管理者に委託している。高齢者生産活動センター、農林産物直売所(龍勢茶屋)などは市の第3セクター「(株)龍勢の町よしだ」に賃貸借し、自主事業として6次産業化等の推進、特産品の開発など地域の活性化に寄与し、効率的な運営を行っている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 元気村誘客施設管理事業は、施設の管理運営の在り方を検討する。 龍勢会館誘客施設管理事業は、道の駅龍勢会館としての機能を充実を図る。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 農林産物直売所の陳列棚を改修し、売場面積を倍に確保しましたので、地元農家、生産者が特に地場の新鮮な農産物を比較的安価で納入できるよう直売所部会と連携していけるよう協力、指導していく。 生産者の活力を生み、自慢の農産物を販売し消費拡大を図った。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	集客と売上げを伸ばすために施設整備して、秩父市よしだの知名度アップ、魅力あるもの、特色ある商品の開発を図る。 平成26年度予算計上して、道の駅「龍勢会館」施設を整備し、利用客の利便性を図った。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	吉田地域の農林業振興を推進するために農業後継者、担い手育成、6次産業化などの就農事業が行えるよう関係機関や生産組織と連携を図る。 集客と売上げを伸ばすよう、生産者、加工商品化、販路開拓など連携を密接にする。また、情報の共有を図りそれぞれがよい商品(農産物)を作ること。施設の運営は、また利用したい、また寄りたいなど「おもてなしの心」により、イメージアップに努める。各種関係団体及び生産者等と連携して、直売所施設の売り上げを増やし、特色ある商品と地域づくりの取り組みを継続する。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 地域の諸資源を活用することにより、観光農林業の活性化が見込まれ、交流人口の増加に繋がる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	新井 和美	電話番号 0494-72-6083
----------------------	-------	----------------------